



Rule Making Project

# 丹高ニュース

№7

令和5年8月1日(火)

～ 豊かな学びの実現 ～

## 学校づくり自分事

新たな学校の優先事項などをテーマに話し合う高校生ら



### 生徒が主導で優先事を議論 校則あり方考える



自校の取り組みを発表する丹原高生

活動の参考になる」と話していた。(高橋圭太)

### 県内6中高校「ルールメイキング」講座

校則などルールのあり方を考えることで、高生の意思決定や自己発信の力をつける「ルールメイキングプロジェクト」の講座が29日、西条市明屋敷の市施設「SAIJO BASE」

西条

であり、オンライン参加を含む県内6校の中高生計約20人と各校教員らが他校の取り組みを学びながら意見を交わした。

ワンダーエデュケーション(松山市)の主催で、認定NPO法人「カタリバ」が共催。丹原高校などでは校則のあり方を考える生徒主導の取り組み

2022年度に決まった。近い将来、高校が新しくなる状況下、生徒主導の学校づくりは中学生にとっても「自分事」として関心が高まっている。同校2年高瀬快さんは「学校の名前はなくなっても、ルールメイキングの活動実績や文化は残したい。そのために活動を進めていくことが大事だ」と語り、西条高2年佐藤伶さんは「丹原高は早く取り組んでいて、やりたいことがはっきりしている。自分の高校での活動の参考になる」と話していた。(高橋圭太)

が進んでいるが、学校の枠を超えるのは今回が初めてという。参加者は班に分かれ、新しい学校をつくる場合に何を優先するかをテーマに話し合った。ある班は安全安心を重視し「体罰や暴力の禁止やスクリーンや暴力の禁止やスクリーン配置」を最優先に形り組むと発表。服装・髪形の自由や、休み時間を十分に取りたいとの訴えがあったほか、人に

## ルールメイキングプロジェクト 学校間の枠を超え、活動を拡大！